

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	川崎市北部地域療育センター		
○保護者評価実施期間	2025年 12月1日		2026年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	144 (回答者数)	110
○従業者評価実施期間	2025年 11月25日		2026年 12月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	25
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の特性に応じた支援と環境づくり	利用児一人ひとりの発達特性や状況を踏まえ、視覚支援や環境構成の工夫、活動内容の調整を行いながら支援を実施している。	視覚支援や環境構成について、職員間での共通理解を深め、より一貫性のある支援につなげていく。
2	職員間の連携と専門性を活かした支援	クラス職員や専門職が連携し、アセスメントや振り返りを通じて支援内容を検討している。	職員研修や振り返りの機会を通じて、専門性の向上と支援の質の維持・向上を図る。
3	保護者との丁寧な関わりと相談支援	保護者登園日や面談、日常的なやり取りを通じて、こどもの様子や支援のねらいを共有している。また、懇談会や交流会等を通じて、保護者同士が思いや悩みを共有できる機会も設けている。	保護者への情報提供や相談機会について、引き続き丁寧な対応を心がけていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・設備面に関する課題	クラスの人数や活動内容、時間帯によっては、スペースの使い方や設備面で調整が必要となる場面がある。特に、楽器や光学系支援機器を使用するクラスでは、活動スペースや保管場所の確保が課題となる場合がある。現在使用機会がない箇所においては不衛生と感じる部分がある。	活動の内容や人数に応じた部屋の使い分けや、各種支援機器を使用する際の動線への配慮など、日常の運営の中でできる工夫を重ねていく。
2	職員配置や情報共有に関する課題	こどもの年齢や発達状況、保護者支援の必要性に応じて、配置基準上は適切であってもより手厚い対応が求められると感じる場面がある。また、業務改善や評価結果、外部評価等について、職員間での理解や共有状況に差が生じることがある。	日々の職員配置を踏まえ、こども自身が生活の流れを理解し、安心して行動できるような関わりを大切にしていく。活動内容やこどもの状況に応じてクラス内での人数や活動の進め方を工夫するとともに、自立に向けた課題設定や環境の構造化、視覚的な支援を活用し、少ない人数でも安定した支援が行えるよう検討していく。
3			

事業所名	川崎市北部地域療育センター
------	---------------

公表日 2026年 3月 30日

利用児童数 144名 回収数 110名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	105	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅とは違い、室内でものびのびと遊べている。 ・広+H9:J15+H9:J10の為、不便に感じたことはない・走り回れる。(2件) ・年長クラスでは狭く感じた。 ・こども用個室トイレを増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を分かれて行い、場面にに応じて人数調整してゆとりを確保する工夫をいたします。 ・トイレについては個室のトイレを増設することは物理的に難しい状況です。こども用は仕切って目隠しができるようにする等、工夫してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	101	6	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数でも目配りが行き届き安心できると感じる。 ・2人の先生で細かく見ていただき助かっている。 ・状況により人手不足を感じる場面(こどもへの対応時・専門職面談が在籍状況に左右される等)がある。(6件) ・初対面時に職種・氏名を示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応時には他の職員によりフォローする体制を整備いたします。 ・名札・職種表記および自己紹介の徹底を行います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	102	5	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに何があるか把握できていると感じる。 ・視覚支援の提示方法(位置・時間・声かけ)が改善されると良いと感じる。 ・次のスケジュールの為にただ提示することにだけ意識が向いているように感じることもある。 ・目的への視覚支援がよくわかるようになっていと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援をさらに効果的にするために職員全体で視覚支援の目的・効果・提示手法を共通理解することに重点を置いて取り組みます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	104	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔に保たれていると感じる。(外遊び後に着替えがあるとより清潔) ・老朽化による設備不具合があると感じる。 ・床やテーブルが汚れる活動後の軽くて良いので床を清掃してほしい。(2件) ・物を口に入れることもがらみの中で小さい玩具があると不安を感じる。(2件) ・各部屋にトイレと洗面台があるのが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れやすい活動後の清掃を職員動線に組み込み、玩具は年齢・発達特性を考慮して環境整備いたします。 ・設備の不具合は点検計画に反映させ、必要に応じて市の所管課へ修繕を要請します。
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90	12	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・成長を実感できると感じる。 ・専門性に不十分さを感じる場面がある。他で学んだことを伝えるとご存じないことが沢山あった。 ・言語訓練や最新知見の活用、レベル分けした活動設定があるとよい。 ・気持ちの切り替えが難しいこどもやこども同士の関わりへの促進が不十分と感じる。 ・子供が好きな遊びをしている際に、もう少し好意的に接してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職と協働してアセスメントを行い、見立てを共有した上で必要な支援を実施する体制を強化してまいります。 ・また、職員研修や児童発達管理責任者によるスーパービジョンを進め、職員全体で支援の質の向上を図ります。 ・これらの取組により、こどもの特性を適切に捉え、一貫性と専門性のある支援につなげてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96	2	1	11	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容と概ね合っていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公表している支援プログラムと実際の支援との整合は概ね確保されています。 ・引き続きプログラムの変更に伴って周知を継続します。

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	102	6	0	1	・個性があまり感じられなかった。	・保護者からの具体的なニーズを聞き取り、5領域を踏まえたアセスメントを実施し、個々に応じたオーダーメイドの計画作成に努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	102	4	0	4	・成長や課題が分かりやすいと感じる。 ・設問の意味が分からなかった。	・引き続き、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」の各項目について具体的な支援内容の設定に努めます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	97	9	0	4	・支援内容に沿った関わり方ができていないのではと思う時がある。 ・こども同士の気づきを促す活動を増やしてほしい。	・個々のこどもの発達段階をより正確に把握し、その段階に応じた活動設定を行ってまいります。 ・こども同士のやり取りがねらいとなる場面か、個々の課題の支援が適している場面かを丁寧に検討し、目的に合わせた小集団・個別活動を柔軟に組み合わせていきます。 ・保護者への説明がさらに充実できるように取り組みます。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	98	8	2	2	・毎年クラス担任等の体制により、チームワークや個性がある支援を受けられていると感じる。 ・工夫は感じるが、適度な繰り返しにより、学習効果も高まる為、固定化しないようにすることに囚われない方が良いと思う。 ・もう少しレパートリーが増えると良い。（2件）	・基本的な流れは変わらずに、少しずつ内容や道具を変える工夫、活動の種類を増やし、時期に合わせて入れ替える仕組み、こどもの成長に合わせて“難しさ”や“ねらい”の調整を行い、“新しい学び”と“くり返し”による定着の両方が得られるようにしていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	64	6	22	18	・所属園がある為、問題はないはないが、事業所ではその機会はない。 ・未就園児の為、機会はまだない。（2件）	・現在は全体の約98%が併行通園であることから、交流の対象となるお子さんが非常に限定的であり、無理に交流機会を設けるのではなく、対象となるお子さんの状況や在籍状況に応じて対応を検討する方針といたします。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	107	1	0	2	・丁寧な説明があったと感じる。	・初回説明は概ね丁寧との評価を踏まえ、今後も運営規程・支援プログラム・利用者負担等の説明をしてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100	4	1	5	・支援内容の説明が行われている。	・計画を示しながらの説明は概ね実施されています。 ・引き続き、児童発達支援計画書その場で提示しながら、こどもの様子や実際の支援場面の様子を交えて説明する方法を大切にまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供等が行われていますか。	100	5	2	3	・親子通園があり、一緒にバスで通える為、助かっている。 ・職員の関わりを間近で見ることができ、参考になると感じる。（2件） ・研修の回数・内容を増やしてほしい。 ・参加経験がない為、分からない。	・今後も、クラスの時間に実施している保護者学習会を継続するとともに、施設で企画している「ほくほく講座」についての案内を強化し、保護者の皆さまが参加しやすいよう情報提供の方法を工夫してまいります。 ・保護者通園の際には、こどもの活動の様子や、関わり方のポイントについて丁寧にフィードバックすることを引き続き大切にまいります。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	104	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭の事情もある為、あまり踏み込んで話をすることは無い。 ・子ども、家族、保護者自身の相談を聞いてもらえ、ありがたい。それにより、参考にできたり、成長のバネになっていると感じる。 ・療育時間が限られている為、話し足りないと感じる時がある。その為、面談や懇談の機会を増やしてほしい。 ・些細なことでも適切な接し方や、対応の理由を説明してくれている。 ・初日に電話した際、心配事を聞いてもらえ、共感した姿勢で対応してもらえ、心強かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの状況を踏まえた上で、なるべく懇談の機会を設定できるように取り組みます。また、療育時間外の個別面談等の機会を必要に応じて設定していきます。
	16	定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	103	6	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談できており、体制が整えられている為、安心して居る。(2件) ・定期的にというほどの頻度で面談はないが、普段のクラス内での職員とのコミュニケーションで足りている。 ・もう少し、話せる時間があると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの状況を踏まえた上で、なるべく懇談の機会を設定できるように取り組みます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	72	17	1	20	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも支えてもらっている。 ・いつも色々なアドバイスをもらっている。 ・担任の経歴等を知る機会があると信頼関係が構築されやすいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで同様、子どもや保護者の気持ちに寄り添う姿勢を大切にし、共感的な関わり方やコミュニケーションに関する職員研修を継続し、支援の質向上に努めてまいります。 ・職員個人の詳細な経歴等は個人情報保護の観点からお伝えできませんが、保護者の皆さまに安心感と信頼感を持っていただけるようコミュニケーションの充実に努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	93	8	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい児の交流会があれば、参加したい(2件) ・父親勉強会があると良い。 ・保護者同士の繋がりを育てるような企画を希望している。 ・保護者のみで給食を食べる日があると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・きょうだい支援について、交流会や父親向け企画のご要望を頂きました。現在、きょうだい児を対象としたイベント等の企画は予定しておりません。 ・父親交流会を年2回実施しており、引き続き継続してまいりますので、その中で検討いたします。 ・保護者同士のつながりが持てる場づくりについても、どのような方法が適しているかを検討しながら、今後の取組に活かしてまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されていますか。また、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	101	4	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリも利用している場合、同施設内で、もう少し情報共有してもらえると嬉しい。 ・子どもの要求に対し、応じて良いものではと感じたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在も診察や訓練の日程等、職種間での情報共有を行っておりますが、より連携を密にし、情報の共有に努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90	8	2	10	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡が取れない家庭の対応で、職員が減ってプログラムが滞る時がある。 ・おたより等をファイルに入れているのみ ・次回持ち物・特記事項の案内を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて他職員がフォローできるように体制を整備し、プログラムの停滞を防ぎます。 ・必要に応じて今後の活動の案内をするよう、職員に周知徹底いたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	101	2	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・マチコアプリの使い方等、詳しく教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初回に配布している登録案内に操作ガイドを盛り込むとともに、必要に応じて個別に操作法等をお伝えします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95	5	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報管理は適切と感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取扱いは適切との評価を踏まえ、引き続き職員研修と取り扱い手順の点検を実施します。 ・誤送信・誤配付防止のためのダブルチェックを徹底します。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	91	7	2	10	<ul style="list-style-type: none"> ・説明された。 ・マニュアルがあることを知らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は 契約時の重要事項説明の場において、訓練を実施していることや、事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応等のマニュアルを作成していることを確実に伝えることを強化しています。 ・今後も、マニュアルの周知方法について継続して検討し、必要に応じて保護者の皆様に確認しやすい形での情報提供ができるよう取り組んでまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	99	3	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練実施なし（参加場面がない）。（2件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設としては月1回訓練を行っています。隔週登園のクラスは機会がない可能性があります。 ・今後も契約時の重要事項説明の場において、訓練を実施していることを丁寧に説明してまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	89	3	1	17	<ul style="list-style-type: none"> ・安全の確保はされていると思う。 ・防犯面で不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出入口の施錠・入退室管理、来訪者確認の手順を再点検致します。 ・防犯面で不安のある保護者には必要に応じて個別に説明いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	94	9	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・その状況になっていない為、わからない（5件） ・怪我した時も案内してくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、速やかな連絡や事故が発生した際の状況等についての丁寧な説明に努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	105	2	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で聴くことはないが、行ってくれている。 ・いつも楽しそうにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して通所でできているとお声をいただいています。 ・今後も、こどもが安心して利用できるよう、丁寧な関わりと環境づくりに引き続き努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	98	6	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、登園やバスに乗ることを楽しみにしている。（2件） ・楽しく遊んでいる。 ・最近、行き渋りがある。 ・本人の意思を確認できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通所を楽しみにしているとお声を多くいただいています。 ・今後も、こどもが安心して楽しく利用できるよう、興味に合った活動や丁寧な関わりを大切にしながら支援を続けてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	95	8	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に満足していると感じる。（3件） ・通所曜日や時間帯の選択が難しいと感じる。 ・母子通園回数を減らしてほしい。（2件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、お子さんの年齢や発達段階、保育所・幼稚園の利用状況等を踏まえ、通園による積み重ねの効果も考慮して通園日数やクラス編成を設定しています。 ・ご意見として受け止め、今後もお子さんの発達の様子を十分に考慮し、クラス編成や保護者登園の頻度を検討してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		川崎市北部地域療育センター		公表日		2026年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22	3	・利用児の人数や発達特性に応じて保育室の割り振りを行い、見通しが持ちやすく刺激の少ない環境づくりを心がけている。また、必要な備品以外は整理・保管するなど適切な活動スペースを確保する工夫を行っている。	・クラスや利用児の状況によっては、活動内容や時間帯により空間が混み合う場面がある。特に、肢体不自由児クラス等においては、座位保持椅子やバギー等の支援機器を使用・保管する必要があり、活動スペースや保管場所の確保が課題となる場合がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	23	2	・配置基準を満たした上で、こどもの年齢や発達特性、その日の様子に応じて職員配置を工夫し、必要に応じて他クラス職員や専門職がフォローに入る体制を整えている。	・年齢の低い子どもや医療的配慮、保護者支援が必要な場面では、配置基準上は適切であっても、より手厚い対応が求められると感じる場合がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	8	・絵カードや写真等の視覚支援を活用し、こどもが活動の流れや次の行動を理解しやすいよう配慮している。 ・パーティションや家具配置の工夫により、活動内容や特性に応じた構造化された環境設定を行っている。	・一部の設備や動線について、集中や安全面の観点から見直しが必要と感じられる箇所がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	22	3	・毎日の清掃や消毒を徹底し、清潔で安心して過ごせる環境の維持に努めている。活動内容に応じて空間を区切るなど、過ごしやすさへの配慮を行っている。	・一部の設備や使用頻度の低い場所において、衛生面・環境面で課題が見られる場合がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22	3	・空いている教室やホール、廊下等を活用し、またパーティション等を用いて、個別対応や落ち着いて過ごせる環境を工夫している。	・部屋数やスペースの制約により、常時個別対応に適した場所を確保することが難しい場面がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	23	2	・日々の振り返りやクラス内の話し合いを通じて、支援内容や業務の改善点を共有している。	・業務改善の取組について、職員全体での参画意識や共有の深さに差が生じる場合がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	1	・保護者評価の結果を会議等で共有し、支援内容や運営の見直しに活用している。	・評価結果の内容や改善への反映状況について、職員への共有方法に工夫の余地がある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22	3	・会議や面談等を通じて、職員の意見や気づきを把握する機会を設けている。	・勤務形態や立場により、意見の発信しやすさに差が生じる場合がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	23	2	・第三者評価や監査を受け、事業運営の点検を行っている。	・外部評価の内容や目的について、職員への周知が十分でないと感じられる場合がある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	25	0	・内部研修や外部研修への参加機会を設け、職種や経験年数に応じた学びの機会を確保している。	・業務との兼ね合いにより、希望する研修への参加が難しい場面がある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	25	0	・支援プログラムを作成し、保護者や職員が確認できる形で公表・周知している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	25	0	・生活シートや日々の観察、保護者からの聞き取り、多職種の見解を踏まえてアセスメントを行い、支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23	2	・担任や関係職員、専門職が情報を共有しながら検討を行っている。	・全ての関係職員が十分に関わられる時間の確保が難しい場合がある。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	25	0	・支援計画を随時確認し、記録や振り返りを通して支援内容の共有を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	24	1	・アセスメントシートや日々の行動観察を活用し、こどもの状況を多面的に把握している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	24	1	・児童発達支援ガイドラインを踏まえ、本人支援を中心に、家族支援や移行支援等も意識しながら支援計画を作成している。 ・必要に応じて関係機関との情報共有や連携もしている。	・支援計画に含まれる各支援領域の位置づけやねらいについて、職員間での理解に差が生じる場合があり、共通理解をより深めていく必要がある。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	23	2	・クラス職員や専門職と連携し、話し合いながら活動内容を検討している。	・十分な検討時間を確保することが難しい場合がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	25	0	・同じ活動でも関わり方や教材を工夫し、こどもの成長や興味に応じた変化を持たせている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	24	1	・こどもの状況やねらいに応じて、個別的な関わりと集団活動を使い分けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	21	5	・支援開始前に、その日の支援内容や活動のねらい、役割分担について職員間で確認するよう努めている。 ・当日の打合せが難しい場合には、前日や事前の申し送り等を活用し、支援内容の共有を図っている。	・バス添乗等の業務状況により、十分な打合せ時間を確保できない場合がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25	0	・支援終了後に、その日のこどもの様子や支援内容について振り返りを行い、気付いた点や次回の支援に活かす視点を職員間で共有している。 ・記録や申し送り等も活用し、情報の共有に努めている。	・会議や研修等の状況により、振り返りの時間を十分に確保できない場合がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	25	0	・日々の支援について決められた様式で記録を行い、こどもの様子や支援内容を整理している。 ・記録をもとに職員間で情報共有を行い、支援の振り返りや次回の支援内容の検討につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	24	1	・定期的なモニタリングや保護者との面談を通じて、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25	0	・児童発達支援管理責任者やクラス担任等、日頃からこどもの支援に関わっている職員が会議に参画し、状況や支援内容を共有している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25	0	・必要に応じて、保育所・幼稚園・学校等と連携し、こどもの適応状況や支援内容、移行支援等について情報共有を行っている。 ・また、訪問看護ステーションや医師とも連携し、医療面や生活面に関する情報を共有しながら、こどもに応じた支援につなげている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25	0	・所属園での様子確認や、必要に応じて訪問をする等している。 ・就園時必要に応じて書面や訪問、電話連絡等で情報共有を行っている。 ・保育所や幼稚園等と併用利用できるクラス設定を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	1	・(移行)支援シートの作成や就学予定校の担当者の見学を受け入れる等を通じて、就学先との情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	23	2	・地域連絡会や研修会等に参加し、他事業所との情報共有や意見交換を行っている。	・参加状況や取組内容について、職員全体での把握に差が生じる場合がある。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	24	1	・学識経験者による研修会の実施や所内専門職からの助言、外部研修への参加を通じて、支援の質向上に努めている。	・業務調整の関係で、希望する研修等を十分に活用できない場合がある。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	11	・主に地域支援部ソーシャルワーカーが関係会議に積極的に参加し、地域の動向や情報把握に努めている。	参加状況や内容について、職員全体での共有が十分でない場合がある。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	0		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	16	・行事やイベント等を通じて、地域とのつながりを持つ機会を設けている。 ・近隣の保育園と意見交換を行った。	・地域との関わりや交流の位置づけについて、職員間での認識に差が生じる場合がある。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	25	0	・保護者登園日や面談、日常的なやり取りを通じて、こどもの様子や支援内容を共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22	3	・保護者向け学習会を施設やクラス単位で行っている。 ・心理職を中心にペアレント・トレーニング等を実施している。	・参加しやすさや実施回数について、検討が必要な場合がある。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	24	1	・契約時や年度当初に運営規程や支援内容等について説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	25	0	・生活シートや面談を通じて、保護者やこどもの意向を確認し、支援計画に反映している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	24	1	・支援計画を提示しながら説明を行い、保護者の同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	25	0	・保護者登園日や日常のやり取り、電話等を通じて相談を受け止めている。 ・懇談会や交流会等を通じて保護者同士が思いや悩みを共有できる場を設け、必要に応じて個別面談や専門職との連携を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	22	3	・懇談会や父親交流会等のイベントを実施し、保護者同士の交流の機会を設けている。	・きょうだい児向けイベントの実施は現在のところ予定していない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	25	0	・相談内容に応じて主担当を決めながら関係職員で共有し、迅速かつ適切な対応に努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	25	0	・年間4回の通信発行に加えアプリ等を活用し、活動内容や連絡事項の発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25	0	・研修やセルフチェックを通じて、個人情報の適切な取扱いを徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	25	0	・絵カードや書面、分かりやすい言葉を用い、こどもや保護者に応じた情報伝達を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	22	3	・行事やイベントを通じて、地域住民との交流の機会を設けている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24	1	・各種マニュアルを整備し、職員や保護者に周知するとともに定期的な訓練や研修を行っている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25	0	・業務継続計画を策定し、定期的に避難訓練等を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	25	0	・健康質問票や生活シートを活用し、必要な情報を職員間で共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	24	1	・医師の指示書に基づき複数職員で確認を行い、除去食等の対応を行っている。 ・配膳時には個別の食札や食器の区別等により、提供時の間違いが生じないよう配慮している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24	1	・作成した安全計画に基づき、研修や訓練を通じて安全管理に取り組んでいる。	・取組内容について、職員間での理解を深める必要がある場合がある。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24	1	・契約時等に安全に関する説明を行い、保護者と情報共有をしている。また、不審者対応については、クラス毎に統一した対応を周知している。	・周知方法について、工夫が必要な場合がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	25	0	・担当委員会等を通じてヒヤリハット事例を共有し、再発防止の検討を行っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	25	0	・定期的な研修やセルフチェックを行い、虐待防止への意識向上に努めている。		

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	25	0	・身体拘束適正化委員会を設置し、組織的な決定を行うとともに保護者に説明を行い、児童発達支援計画へ記載をして支援を行っている。	
--	----	--	----	---	--	--